

第8週(2月16日～2月22日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

○インフルエンザは、小児科定点あたり13.9人と減少しました。

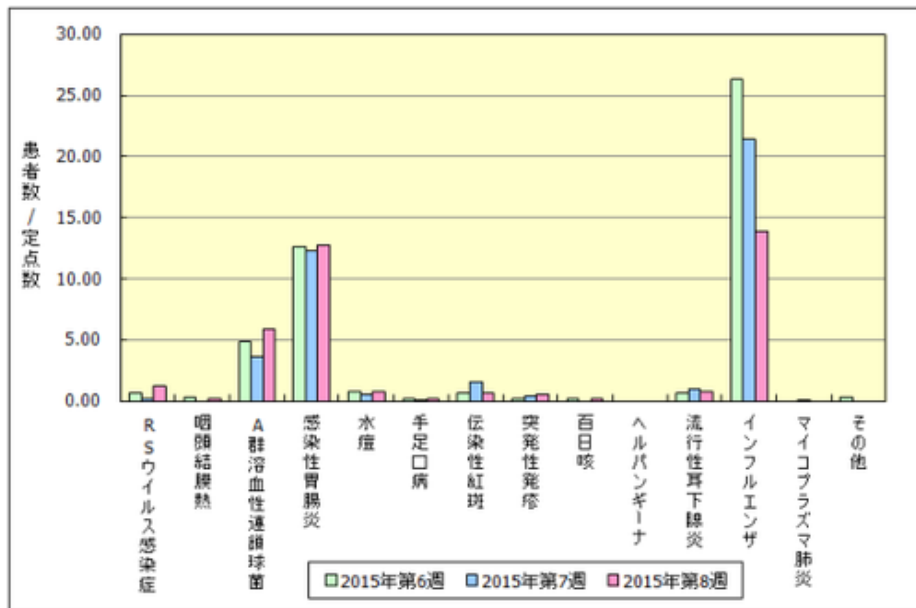
内訳 A型 179名・B型 9名

依然、警報レベルが続いていますので、引き続き、手洗い・うがい・咳エチケットに留意し、感染が広がらないよう注意しましょう。

○A群溶血性連鎖球菌が小児科定点あたり5.9人と増加しています。

インフルエンザ同様に冬に流行する感染症です。

飛沫感染、接触感染で広がりますので、特に保育施設では注意が必要です。



第8週疾患毎発生状況グラフ

	2015年 第3週	2015年 第4週	2015年 第5週	2015年 第6週	2015年 第7週	2015年 第8週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	8 ↓	11 ↑	10 ↓	8 ↓	3 ↓	17 ↑	6	0	2	9
咽頭結膜熱	8 ↑	5 ↓	2 ↓	4 ↑	0 ↓	3 ↑	0	1	0	2
A群溶血性連鎖球菌	47 ↑	85 ↑	68 ↓	68 →	51 ↓	82 ↑	33	19	17	13
感染性胃腸炎	221 ↑	186 ↓	212 ↑	177 ↓	172 ↓	179 ↑	59	39	65	16
水痘	13 ↓	16 ↑	5 ↓	10 ↑	7 ↓	10 ↑	2	1	3	4
手足口病	1 ↓	1 →	3 ↑	2 ↓	1 ↓	3 ↑	1	1	1	0
伝染性紅斑	15 ↓	15 →	16 ↑	9 ↓	21 ↑	8 ↓	1	1	6	0
突発性発疹	2 ↓	3 ↑	2 ↓	3 ↑	6 ↑	7 ↑	1	0	3	3
百日咳	0 ↓	1 ↑	0 ↓	2 ↑	0 ↓	3 ↑	0	3	0	0
ヘルパンギーナ	0 ↓	1 ↑	0 ↓	0 →	0 →	0 →	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	13 ↑	7 ↓	7 →	9 ↑	13 ↑	10 ↓	5	3	1	1
インフルエンザ	442 ↓	579 ↑	473 ↓	369 ↓	300 ↓	194 ↓	39	70	45	40
マイコプラズマ肺炎	1 ↓	0 ↓	0 →	0 →	1 ↑	0 ↓	0	0	0	0
その他	1 ↓	1 →	1 →	4 ↑	0 ↓	0 →	0	0	0	0

第8週疾患毎発生状況表

第8週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他
～5ヶ月	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
～11ヶ月	7	0	0	7	0	0	0	5	0	0	0	4	0	0
1歳	5	0	2	15	2	1	0	1	0	0	1	9	0	0
2歳	2	1	3	18	0	0	2	0	0	0	1	10	0	0
3歳	0	0	8	17	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0
4歳	0	0	16	18	0	1	2	0	0	0	0	12	0	0
5歳	0	1	6	15	0	0	0	0	0	0	1	21	0	0
6歳	0	0	12	16	2	1	0	1	0	0	2	23	0	0
7歳	0	0	12	14	2	0	2	0	0	0	0	20	0	0
8歳	0	0	8	11	1	0	1	0	0	0	1	10	0	0
9歳	0	0	4	10	0	0	0	0	2	0	2	9	0	0
10～14歳	0	1	9	16	1	0	1	0	0	0	0	46	0	0
10～12歳												30		
13～14歳												16		
15～19歳	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
20歳以上	0	0	2	18	0	0	0	0	1	0	0	22	0	0
合計	17	3	82	179	10	3	8	7	3	0	10	194	0	0

第8週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- ・ 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- ・ 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- ・ 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- ・ みなみ野
由井事務所